

第66回 『松江市史』別編1「松江城」編集日記

『松江市史』別編1「松江城」（以下『別編松江城』と記す）は5月で原稿執筆がほぼ終了し、平成29年度末の刊行を目指して、入稿・校正作業を進めている。平成27年7月8日に松江城天守が国宝に指定され、『別編松江城』についても関心が高まっている。

『別編松江城』は、本編と資料編に分かれている。

本編は、第1章松江城の築城と整備、第2章松江城の石垣、第3章松江城の城郭施設、第4章松江城下町の造成、第5章松江城下の都市と建築、第6章地下に眠る松江城下町、第7章歴史遺産としての松江城の7章で構成されている。

資料編は、第8章絵図資料、第9章松江城下町遺跡、第10章石材・石垣・瓦の調査資料、第11章文献史料、第12章松江城伝来資料、第13章写真資料の6章で構成されている。

その他に、図版を取り入れてわかりやすく解説した用語解説、「松平家家譜」（島根県立図書館蔵）や「松江藩列士録」「新聞記事」などの史料の記事を基に作製された年表も興味深い内容となっている。また凡例には付図として「松江城城郭呼称概念図」「松江城建物呼称概念図」を掲載している。この2つの「呼称概念図」は、絵図や文献史料から城郭・建物の呼称を調査し、和田嘉宥先生を中心として、松江城部会で検討されて作製されたものである。凡例にも明記しているが、『別編松江城』では「松江城城郭呼称概念図」「松江城建物呼称概念図」で呼称を統一している。今回の調査では、城山公園西側の「椿谷」という呼称は探し出すことができなかった。

『別編松江城』の特色は、これまで様々に語られてきた「松江城」「松江城下町」の伝承の検証である。例えば、松江城下町造成は古老の伝承にあるように本当に宇賀山を開削したのだろうか。という伝承については、土質調査・ボーリングデータから『別編松江城』第4章の松江城下町の造成で検証している。また松江城築城が遅れたのはなぜか。そして城地が一部未整備で自然地形のまま残されたのはなぜか。これについては、第1章の松江城の築城と整備で、史料に基づき他の築城と比較して検証している。

そのほかの『別編松江城』の特色は、口絵、第8章の絵図資料、そして第13章の写真資料である。写真資料は「松江城天守古写真」「絵葉書、風景写真に写る松江城と城下町」「松江城天守昭和の大修理」の3つから構成されている。



このコラムには「松江城の夜景」の写真（左）を掲載した。これは口絵の候補の1枚だったが選ばれなかった。しかし、普段はあまり目にすることがない夜の「松江城」の姿は、怪しくも美しい。このように『別編松江城』は990頁という制限があるために掲載できなかったものもある。

松江城部会では『別編松江城』で掲載できなかった内容や刊行以後も継続している調査の報告をまとめる必要性を感じている。また『別編松江城』をわかりやすく読んでもらうための手立ても必要だと感じている。そこで『別編松江城』刊行後の取り組みとして、小冊子、ブックレットなどの作成に取りかかっているので今後の活動に期待していただきたい。

最後に『別編1松江城』はこれまで、年2回の松江城部会、20回近い査読検討会、城郭・石垣などの調査、松江城下町遺跡・文献史料などの検討会を重ねてきた。その成果は、松江市史講座・『ふるさと文庫』・『松江市歴史叢書』・『松江市城研究』などで見ることができる。一部を下記に記載した。

【『別編1松江城』に関する松江市史講座】（松江市のホームページで資料を見ることができる）

●平成23年度：

「宍道湖畔に築かれた松江城」（山根正明先生）

●平成24年度：

「絵図の世界へ誘う-松江城下町絵図-」（渡辺理絵先生）

「江戸時代の松江の建造物」（足立正智先生）

●平成 25 年度：

「石垣から松江城を考える」（乗岡実先生）

「科学が明かす松江平野の歴史」（渡邊正巳先生）

●平成 26 年度：

「近世城下町の変遷と松江城下町」（松尾信裕先生）

「松江城下町の空間設計と武家地・町人地の空間について」（安高尚毅先生）

「シンポジウム：城下町形成期の景観復」（河原荘一郎先生・渡邊正巳先生・大矢幸雄先生・長谷川博史先生）

「松江の建造物」（足立正智先生）

「松江城城郭施設の特徴とその推移-記録・絵図史料を中心に-」（和田嘉宥先生）

●平成 27 年度：

「城郭から見た堀尾氏の出雲支配」（中井均先生）

「堀尾氏の城郭普請」（山上雅弘先生）

●平成 28 年度：

「近世城郭と城下の空間設計を考える-松江城と姫路城の事例から-」（堀田浩之先生）

「写真でたどる松江城とその周辺」（和田嘉宥先生・伊藤孝一先生）

「松江城を掘る-地下に眠る松江城の歴史-」（岡崎雄二郎先生）

●平成 29 年度（予定）：

「初期松江城天守の形態と千鳥破風」（和田嘉宥先生・稲田信史料編纂課長）

「松江城をめぐる諸問題と今後の展望-『松江市史』別編 1「松江城」の出版に併せて-」（西尾克己先生ほか）

【『別編 1 松江城』に関する『松江市歴史叢書松江市史研究』】

●『松江市史研究 5 号』（平成 26 年 3 月発行）

「松江城の石の構造と年代」（乗岡実著）

「三ノ丸の特色とその推移について」（和田嘉宥著）

「松江平野の古環境（3）-県道城山北公園線（大手前通り）発掘調査に関連して（3）-」（渡辺正巳・瀬戸浩二著）

●『松江市史研究6号』（平成27年3月発行）

「史跡松江城の発掘調査（1）-外曲輪（二之丸下ノ段）-」（岡崎雄二郎著）

●『松江市史研究7号』（平成28年3月発行）

「堀尾氏の出雲支配における支城について（3）-亀嵩城と三沢城-」（中井均著）

「いわゆる「松江城築城物語」に関する再検討」（佐木倫朗・福井将介著）

「松江城および周辺遺跡出土瓦の胎土分析について」（白石純著）

「松江市域の絵図・地図目録（中間報告）」（大矢幸雄・和田嘉宥著）

「松江城下町遺跡における陶磁器の様相と編年-17世紀代の資料を中心に-」（小山泰生著）

「史跡松江城の発掘調査（2）-北惣門橋、御廊下橋跡-」（岡崎雄二郎著）

「松江平野北部の平野発達史と古環境変遷史（2）-花粉分析から推定される古植生-」（渡辺正巳・瀬戸浩二・山田和芳・高安克己著）

「松江城城郭呼称について」（松江城部会著）

「松江城天守古写真考-「明治初年」とされてきた荒廃した松江城天守古写真について-」（稲田信・福井将介著）

●『松江市史研究8号』（平成29年3月発行）

「初期松江城天守の形態に関する試論-絵図、文献資料、天守に残された痕跡を通して-」（和田嘉宥・稲田信著）

「「正保城絵図」と「出雲国松江城絵図」に関する考察」（和田嘉宥・稲田信著）

「出雲における中近世の瓦と松江城築城時の瓦」（花谷浩著）

「松江平野北西部の平野発達史と古環境変遷史-法吉坡の形成と周辺地域の古植生」（渡辺正巳・後藤浩二・奥中亮太著）